

出席委員 7名

座長 遠崎 泰睦

出席職員 西伯町・会見町合併協議会事務局 米原 稔晃

同 前田 智恵子

### 座長の選出について

市川委員の推薦により、遠崎委員が第3小委員会の座長に決定。

### 組織・イベントについての意見

両町の組織・イベントなど把握できない部分が多いので、行政でわかる範囲の組織・イベントの資料を次回会議までに提出。

- ・ 様々なイベントがありますが、どこからどこまでの話なのか。運動会、秋の収穫祭、柿の種飛ばし大会など、どこまでが提言の対象となるのでしょうか。
- ・ イベントは芸能、地域おこしなどに分けられます。イメージアップのためなら、西伯町はさくら祭りがあり、会見町には柿の種飛ばしがあります。

既存のイベントを活用していくか、新規のイベントを提案するのか、2通りがあります。

柿の種飛ばしなどは、合併協議会の事務事業調整では継続の方針となっています。切り口を挙げてみて、なにがあるのかを考えては。

- ・ 種飛ばしにボランティアとして参加したことがあります。種飛ばしは外部へのイメージアップであって、町民の一体感醸成のイベントではありません。

町内での参加者は5,6名程度で、参加者はほぼ町外。ボランティアとしても面白くなくて、参加しなくなりました。

一体感醸成のためのイベントならば、町民が参加できるものではなくてはならない。

- ・ 会見町には会見町まつりがあって、各団体の会員などが奉仕で参加しています。西伯町にそういったイベントはありますか。
- ・ 西伯町は桜まつりに各教室、団体が参加しています。今年から代満健康まつりも合同となったので、そちらの団体も参加しています。  
芸能INさいはくなどもあり、校区ごとに個々にやっているイベントなどもあります。会見町でも開催されていますが、ボランティアフェスティバルなどもあります。
- ・ 既存のイベントを合併後も維持していくのかということ。新しいイベントを作るのは難しいと思う。今までの事業をどう続けていくのか。
- ・ すべてのものをするのは難しいと思いますが、春と秋の2回位はやりたい。
- ・ 合併時のイベントでウォークラリーなどしてはどうか。両町お互いに知らない部分が多いので、親子ふれあい・・・などで両町を回ってみるのも良いかなと思います。

西伯町側が花回廊から出発して、会見町側が緑水湖から出発して、中間点で落ち合うなど。合同で歩いても良いと思います。会見町には史跡案内のボランティアがあるので、説明もできます。

橋の開通記念などによくマラソンやウォークラリーなどを行います。南部町になった記念としてのものを。

- ・ 現存するイベントが把握できていないので、行政にある程度の資料があると思うので、それを基に話をしたいと思います。
- ・ 同じようなイベントがあるならば、合同で開催できないか、各町でやっているものを両町でできないか、町主催のイベントを住民で行うことはできないかなど。
- ・ 住民の主体的取組みが主旨なのではないかと思います。イベント、団体、取組みの資料を出していただければ話もし易いと思います。
- ・ これまでのイベントを継続していくのは重要です。問題は合併時に行うイベントで、ウォークラリーなどは誰でも参加できて良いと思います。
- ・ 芸能大会などは会場の問題がありますが、是非やりたい。ウォークラリーならば会場は問題にならないので、やりやすいと思います。
- ・ 西伯町は芸能 I N さいはくを小学校体育館を利用して行っています。駐車場はグラウンド、西伯ストア、公民館、役場などが近いので利用できます。
- ・ 会見町は場所的に難しいが、コミュニティバスの運行が始まる予定なので、それを利用できるのではないかと思います。便数などの増発などの対応をしていただければ。
- ・ イベントにはさまざまなテーマがあり、両町重なる部分は多いと思います。会見町は去年社会福祉協議会のフェスティバルで、今まで別々に行っていた盆踊りを合同で行いました。回数を多くするのも良いが、大きなものをするのが良いと思います。
- ・ 連休に行う花回廊の野の花のイベントは、3 町の J A、商工会、役場などが一緒になってやっています。合併すれば南部町となり、他町の合併も合わせて 2 町となり、大きなイベントにできます。
- ・ 野の花などは品物を持っている人は参加できますが、一般の住民は参加できるのですか。野の花がやっているのは、役場主体の第 3 セクター、目指しているのは住民主体のイベントではないでしょうか。どちらかと言うと町外、県外に向けたイベントで、活性化が目的です。これを住民がどう手伝えるのかなど。
- ・ 会見町は生涯学習に力を入れていますが、西伯町はどうでしょうか。
- ・ 西伯町の生涯学習というと、公民館活動ですので、さくら祭りが発表の場となっています。
- ・ そういったものもイベントに含めて、それを大々的にやっていくことができます。小さいものから、教育委員会が行う子ども達のイベントもあると思いますので、まずそういった資料を出していただきたい。これまでのものは、当事者でないと興味を示さない。
- ・ 西伯町も天津交流センターでたそがれ音楽祭など、様々なイベントがありますが、参加者や関係者がよほど興味がなくては参加しません。大きなイベントであれば、参加しようかなと思います。
- ・ 生涯学習大会の開催は、合併協議会の調整方針で開催が決定しています。生涯学習は行政が主体、政治的配慮もあって継続となっているのでは。
- ・ 発表する立場としても、多くの人に参加してほしいと思います。
- ・ 講演などのイベントでは、いかにも役場の事業と思えます。地域の産物などとイベントを繋ぐと面白いと思います。講演などはつまらなく思う。西伯町の山菜会などはどうでしょう。
- ・ 町外からの参加者が多く、参加希望者が多くてなかなか参加できません。

- ・ 会見町の種飛ばし大会は景品狙いで、ギャンブル的で嫌いです。柿農家の方はどう思っているんでしょうか。
- ・ 新しいイベントではなく、あるものを活かして、皆が参加できるものを。
- ・ 前回のまちづくり委員会で両町をバスで回った、見たことのないところが多くあったので、新町でそういったところを見て回るのも良いと思います。1回だけではなく、何回か続けて。
- ・ 一式飾りなどの地域特性を残していきたいとしたい。種飛ばし大会を住民主体でやっていきたいという内容が提言となるのではないのでしょうか。
- ・ 会見町まつりで柿の皮はぎ大会をしましたが、ああいったものも悪くないと思います。
- ・ 会見町まつりは上が行政のまつり、下が住民のまつりで分かれてしまっています。
- ・ 種飛ばし大会はネームバリューがあります。
- ・ (種飛ばし大会は)あの予算で大きな宣伝になるので、大したものだと思います。
- ・ (種飛ばし大会は)一体感醸成というよりはイメージアップ。
- ・ 地域特性を活かすということは、大きくなっても地域を大切にすること。
- ・ 認識を一緒にしなくてはならない。
- ・ 桜まつりなどはそれぞれに続けていけば良い。合併したことによって、新しいなにかを考えては。
- ・ 今は両町でボランティアフェスティバルを行っています。会場が難しいですが、合同で開催をしてはどうでしょう。
- ・ 会場と予算が問題です。
- ・ 住民が主体となるイベントで、一番問題となるのが資金です。各団体の主催の場合は予算がありますが、住民主体では地域や行政に頼らざるを得ない。
- ・ 西伯町では、屋台などをそれぞれの地区にお願いして作っていただき、販売をしています。さくらウォーキングでは、商店からの寄付で景品を作り、ボランティアが豚汁の配布を行っていました。近頃は予算の問題で難しい面があるようです。
- ・ 最初に予算の話をしては進まないの、提言を行い、それに商店や地域で賛同していただければと思います。
- ・ 景観形成などは予算のない中でやらなくてはならず、その中で草刈や花植えをしています。主催者側としては非常に辛い。ボランティアは本当に手弁当、茶菓子程度は出してほしいと思っています。鳥取県も厳しくなっており、県の会議でもお茶の一杯も出ませんでした。それが本当のボランティアといえばボランティアですが、厳しいと感じます。
- ・ 元々は大阪の人間ですので、ここは非常に良いと感じています。小さいのが良い。大きくなるとなにかをするのは難しく、小さいと一体感が出ます。  
柿の種飛ばしの宣伝効果は大きいので、これににかに住民が参加していくのか。PRならばPRと割り切って、住民が参加者を迎え入れるようにしていけばどうでしょうか。  
一体感醸成ならば、高齢者、ゆうらくの入所者などは外に出る機会がなく難しい。去年ゆうらくで夏祭りを行いました。ゆうらくの庭で開催したので、入所者も参加でき、近所の子どもも参加できました。子どもと高齢者が顔を合わせるといことは、教育などにもすごい効果のあることだと感じます。  
高齢者だけでなく、障害のある方も参加できれば、子ども達も様々な人に直接接することで、てらいなく受け入れることができあす。出来る限りいろいろな人が接触できるイベントを継続してやっ

ていけるように、健常者だけではなく、どんな人も参加できる町にと思います。

保育園、小学校、中学校、各施設などが一緒になって、やれることを持ち寄ってイベントができればと思います。

- ・ 西伯町は今、それぞれの施設がめいめいにイベントを行っており、ボランティアが順繰りに手伝いにいっている状態です。毎月 1 回ゆうらくに赤十字が入って、デイサービスにも参加しています。今後大きくしていくのはどうでしょう。
- ・ ゆうらくができたので、どんどん一般の方に参加をしてほしい。中学生の職業体験にしても、1 週間などではなく、継続的にやってもらえれば良いのにと思います。こういったことをすれば、福祉の町として町外にも PR できるのではないかと思います。  
私は自宅前の作業所で羊毛の加工をしようとしています、川本町では羊を中心に町おこしをしています。保育園の子どもさんから高齢者まで、皆が加工を行える素材で、異世代間交流ができるのではと考えています。
- ・ 会見町は福祉センターでイベントを行うと、デイサービスの方は参加できます。  
企画段階から参加できるものと、お客として参加するものと、2 通りの参加があります。ヤギのところに行って餌をやるだけでも、ヤギを育てるのに参加したことになります。  
高齢者の 1 人住まいの方がイベントに参加するのに、輸送ボランティアを住民が行うなどでは。
- ・ 両町にある組織は、赤十字は少し交流を行っていますが、食生活改善などは交流がありません。同じような団体はまとめたり、交流をしたりしなくてはいけない。まず資料を出してほしい。
- ・ ある程度決まっているものは必要ないが、地域活性化イベントで折込済のものも含めて、できる限りのものを。
- ・ 大きな大会に小さなものを組み込むことで、より大きなイベントにもできるのでは。
- ・ 大きなイベントの中で、それぞれの会場に分かれてやっているものもあり、それぞれの楽しみ方ができます。会見町まつりも期間中それぞれ今日はこれ、明日はこれと選ぶことができます。
- ・ 行政が把握していない、小さな地区でやっているイベントがあります。一体感醸成ではありませんが、地区が一体となってやっているものがあると、そういった方達は大きなイベントにも参加されます。小さなものを育てていって、大きなものにするのが重要です。
- ・ 会見町金田の蛸祭りなど、地域が主体となってやっています。
- ・ 趣味で様々なものを作っている方などが、合同で発表の場をもってはどうでしょうか。
- ・ 会見町も公民館で展示を行っています。
- ・ 西伯町にもそういったものはあります。さくら祭りで公民館教室の参加者の展示を行います。地区公民館でも同様のものをしているところはあります。
- ・ 町民にアピールできる場があれば盛り上がります。
- ・ 西伯町は運動会を個々で行っていますが、なぜそうなっているのですか。
- ・ 私が西伯町に来た時は町全体で行っていましたが、参加できる種目が少なく、選手だけが参加するようになってしまったので。
- ・ 会見町でも天萬などは参加が順番になってしまっています。
- ・ 安来市なども校区ごとに運動会をして、全体で運動会をしますが、選手しか参加しません。おもしろくなく、本末転倒です。
- ・ 大きなスポーツイベントなどは難しいかもしれません。

- ・ 順位うんぬんではなく、人数関係なく参加できるものが良い。
- ・ 西伯町には歩こう会がありますが、会見町には。
- ・ そういったものはありませんが、ふるさと健康大会などでウォークラリーを行いました。参加者は60名ですが、子どもが参加する場合は両親も参加するので、20組程度です。
- ・ 小さな地区がそれぞれやっているものはあるようですが、組織としてはありません。住民参画の新しい組織というのは、そういったものも考えていけるのでは。  
それぞれ提言を行いますが、そのための新しい組織も考えられるのではないかと思います。委員の思いと出すのも良いが、目指す南部町のための組織など、次回から案を出し合えればと思います。
- ・ 今日は顔合わせですので、具体的にはなりません、こういったものを提案しますということで、決定うんぬんは新しい町で。
- ・ 新しい町での議会もありますので、蹴られるかもしれませんが、住民として提言を。

次回開催は5月19日(水)午後7時30分から、西伯町役場 2階庁議室